

取材日：令和3年10月7日

## 熱中症対策 事例集

業種：建設業（左官工事業）

本社所在地：東京都台東区

取材地：同上

従業員数：30～49名

概要：左官工事、建築工事一式請負、建築改修工事等

### 特に配慮している事項

「左官工事管理システム」を確立させ、左官工事の責任と権限を明確化するほか、多くの関連特許を所有するなど、建築工事の環境変化に即した事業を行っています。熱中症に対しても、最新の情報と知見をすべての従業員と共有し、作業現場でも独自の取り組みを行うなどの徹底した予防対策を実践しています。

### 基本的な取り組み事項

- 職長教育の徹底。
  - 黒球付き WBGT 指数計の取り扱い方法。
  - WBGT 値の基礎知識と対処方法。
  - 万が一、熱中症と思しき症状を発見した場合の元請との連携方法。
  - コロナ禍での熱中症予防の安全衛生教育及び作業員指導方法について。
- 定期的な作業員教育の徹底。
  - 熱中症のメカニズムと予防方法。
  - 過度のアルコール摂取および夜間不要不急の外出リスク。
  - 十分な睡眠時間確保の重要性。

## 1. WBGT 値（暑さ指数）の活用

### (1) WBGT 値の実測

- 作業場所において、職長・安全衛生責任者が黒球付き WBGT 指数計で WBGT 値を1日4回（朝礼後、10:30（休憩後）、13:30（午後配置後）、15:30（休憩後））実測している。
- 同一現場でも周囲環境で変化する WBGT 値の確認は、現地で行う体制をとる。



WBGT 指数計とファン付き作業服(ベストタイプ)

### (2) WBGT 基準値に基づく評価等

- WBGT 値に対応した、こまめな休憩時間を設定し、職長から水分・塩分補給の指示を出している。
- 職長の判断を元請に報告・相談し、工程調整した上で、リスクの低い作業に変更している。
- 作業に先立ち、“炎天下での作業を中止” “作業中止” とすべき WBGT の基準を定め、運用している。

## 2. 熱中症予防対策

### (1) 作業環境管理

#### ①WBGT 値の低減等

- 職長会活動に積極的に参加し、元請と連携して換気設備、業務用扇風機等をこまめに稼働している。



休憩場所に業務用扇風機の設置

### (2) 作業管理

#### ①作業時間の短縮等

- WBGT 値に対応した、こまめな休憩時間を設定している。
- 緊急時連絡ルートを決めている。  
(職長⇒元請担当職員⇒元方安全衛生管理者⇒統括安全衛生責任者)
- 熱中症が疑われる作業員が出た場合、軽傷と思われる場合であっても、職長判断での様子見や帰宅指示をさせず、ただちに元請を含め関係者に報告させる。

#### ②水分及び塩分の摂取

- 個人の判断に任せず、職長から定期的に水分・塩分補給の指示を出している。
- 休憩場所には塩飴を常備し、期間限定ではあるが、カキ氷・スイカ・アイスキャンデー等を日替わりで用意している。

#### ③服装等

- 左官工事に適したベストタイプのファン付き作業服を支給している。これにより、長袖タイプと比べて作業性がよくなり、左官工事でよく起こる、手元の鋭利な工具類で袖を引っ掛けて服を破損するなどのトラブルが生じる心配がない。



作業風景(室内/バルコ)

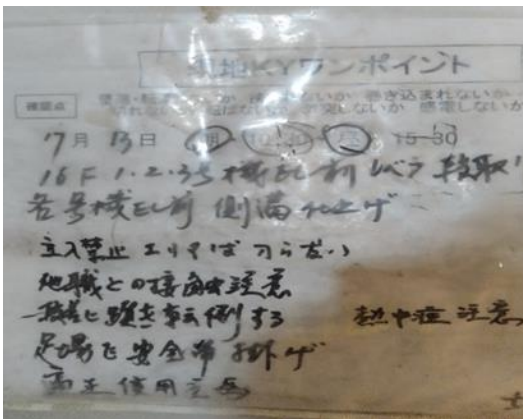
### (3) 健康管理

#### ①健康診断結果に基づく対応等

- 産業医の指示を仰いでおり、健康診断における有所見者には特に丁寧に対応している。

#### ②日常の健康管理等（労働者の健康状態の確認、身体状況の確認を含む）

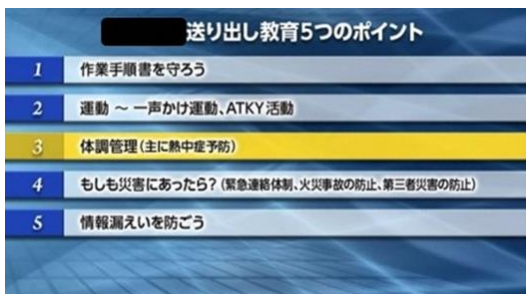
- 安全掲示板を設置し、現地でのKY（危険予知）活動に利用している。



1日4回の現地 KY(危険予知)事項を掲示板で確認している例

### (4) 労働衛生教育

- 安全大会や夏季の研修会で1～1.5時間程度、元請・協力会社から提供される講習資料に基づき熱中症の教育を実施している。（写真は教育の実施例）



教育ビデオ



研修風景

- 熱中症の正しい知識を取得させるための教育を定期的に行っている。

#### <職長への教育>

- 黒球付き WBGT 指数計の取り扱い方法。
- WBGT 値の基礎知識と対処方法。
- 万が一、熱中症と思しき症状を発見した場合の元請との連携方法。
- コロナ禍での熱中症予防の安全衛生教育及び作業員指導方法について。

#### <定期的な作業員への教育>

- 熱中症のメカニズムと予防方法。
- 過度のアルコール摂取および夜間不要不急の外出リスク。
- 十分な睡眠時間（例えば 6 時間）確保の重要性。
- 所属する協会団体の発行する資料を活用して熱中症教育の充実を図っている。
- WBGT 基準値を全員が把握し、答えられるように教育している。例えば、左官作業は中程度代謝率に相当し、暑熱順化者 28℃、暑熱非順化者 26℃が基準値であるなど。

---

#### (5) 救急処置

- 緊急時の行動のルールを設けている。
- 異常発汗反応、視点のちらつきなどの熱中症の予兆が見られる場合は、独断での行動や指示の判断はせずに速やかに元請に報告する。

---

#### (6) 管理体制の整備

- 安全掲示板を設置し、現地での KY（危険予知）活動に利用している。